

元気・やる気・本気を後押し、多彩な提案・支援で農業・農村の活性化

～砺波・南砺の農村女性起業のステップアップを目指して～

砺波農林振興センター

1 背景

地産地消の気運が高まる中、インショップ販売や直売施設が増加・競合し、売上向上に限界がみられるようになってきた。一方、施設の老朽化、会員数や集客数増に伴う施設拡充整備が必要となってきた。女性起業組織会員の高齢化、活動の停滞等から、新規加工部門や新商品開発等、一歩踏み込んだ展開で売上向上と中山間地域振興を図る必要があった。

2 農業者への支援内容

(1) 重点対象組織の課題にあった支援内容の整理と目標の設定

対象組織の課題整理と目標を確認し、ハード支援（施設整備）、ソフト支援（加工技術の向上、経営管理、商品開発、販促等）を整理、身の丈にあった事業を組み合わせた支援を行った。

(2) 補助事業を活用した農産物直売所・加工施設改築支援

①事業導入・計画書作成、②組織育成・運営体制整備、③農産加工機器等導入支援など関係機関と連携し、施設改築に向けて支援した。

(3) 新しい加工品の開発支援

専門家サポートによる新商品開発・県特産品アドバイザーの指導助言、県内外の市場調査やPR活動など試作研究・試験販売等を行い、新規加工品の開発・販売活動を支援した。

3 活動の成果

(1) 農産物直売所「旬菜市場ふくの里」

・10年経過した直売所を改築・オープン（H21.6月）以来、集客増、品揃えが充実し、売上が昨年に比べ20%増加した。

・県内で初めて直売所会員全員がエコファーマー認定され、堆肥共同購入と施用体制づくりを進めている。

・新POSシステムを導入し、顧客及び栽培履歴管理システム、ホームページ開設し、WEBサイト販売を開始した。

(2) コスモスグループ

・菓子製造加工施設を増築（H21.10月）。山の幸を活かした「餅、おこわ、おやき」等が、イベント、直売所で人気商品となり、売上が昨年に比べ20%増加した。

(3) ふる里の味加工組合

・プロ職人伝授による「米粉パン」技術を習得し、新たなレパートリーにして販売した。

・ホームページを開設し、商品PRとインターネット販売を始め、漬物・菓子部門の売上が昨年に比べ10%増加し、パン部門では、昨年に比べ45%増となった。

(4) 金屋ゆず生産組合加工部

・新たなゆず加工品「ゆずこしょう」を商品化し、イベント直売所で販売、好評であった。

・これまでのイベントのみの販売から、「ゆず直売所」を開設し販路拡大を図った。



直売所「ふくの里」新装オープン



山里の菓子加工施設「ごっつお工房」



プロ職人によるパン加工技術の習得



新商品「ゆずこしょう」

4 今後の取組

(1) 女性の能力を最大限に生かした直売所が地産地消の発信・交流の拠点施設を目指す。

(2) 農業（生産者）＋農産加工（女性起業）や女性起業間連携活動による売上・販路拡大支援。

(3) 起業から企業へ → リーダー・後継者育成へとつなげ、農業・農村の活性化を推進。